

大学合格体験記

福井大学工学部 機械システム工学科 合格

三国高校 2021 年卒 高橋昂大



私は、受験をやり遂げて学び得た事、感謝している事があります。

まず、学び得た事として、「受験はモチベーションが命」ということです。私は、数学が得意であり、好きであったため、数学が使える研究や仕事に就こうと考えていました。そこで、福井大学工学部に入り、機械やロボットなどの物づくりのエンジニアとして地元福井へ貢献しようと決意しました。勉強を始めた頃は、ひた向きに単語帳や問題演習を反復して基礎をしっかり固めるようにしていました。しかし、模試を幾度受けても、思うような結果を得られなかったので、自分の勉強法が間違っているのではないかと不安になり、次第に受験勉強をスタートした頃の意欲が無くなってきました。そのような時に、学校での面談で、志望校変更の話が何度も出て、聞かたびに心が挫けそうになりました。それでも、私が、何度も立ち直ることができたのは、モチベーションを維持することができたからです。そのために、私が行っていたことは、「大学調べ」です。福井大学では、人間に代わって、知的な行動や計算などの情報処理ができる人工知能の研究を行っており、自分もその研究室に所属して、人工知能を用いた機械やロボットを作れる技術を得たいという気持ちを持ちました。また、福井大学祭では、サークルの仲間と模擬店を開くところもあるので、自分の志望大学で出会った仲間とともにイベント活動ができるのが楽しいと思います。これらのことを知ったことで、初めの目標に向かって勉学、研究活動に励んでいる自分、楽しいキャンパスライフを送っている自分をイメージすることができたので、勉強する目的を再確認し、活力を取り戻すことができました。最近では、動画を用いてキャンパスの中身を紹介する大学が多いのでホームページだけでなく、YouTube などを利用して閲覧することができます。特に、動画での大学紹介では、まるで自分がキャンパス内を歩いているような臨場感が湧くのでお勧めします。モチベーションを維持する方法を身につけられたことで、勉強への意欲や、集中度が高まりました。

次に、感謝している事は、KATEKYO学院の先生方や両親がサポートしてくれたことです。私は、文系科目を杉田先生、理系科目を吉田先生の2人の先生に指導してもらおう形で丸岡校に通っていました。文系科目の方では、主に英語の指導をしてもらいました。英文法や単語を早いうちから覚えて、それを長文に生かしていくように勉強していました。長文読解では、最近、速読がかなり重視されていますが、その前提として、確かな知識に裏付けされた精読が必要不可欠であると言うことを徹底して教えてもらいました。理系科目の方では、数学・物理・化学を指導してもらいました。私は、理科ができなかったので、わからない事柄や問題を積極的に質問するようにしていました。担当の吉田先生は、身近な物事を例えにして解説を下さるので楽しく理解することができました。理系科目は、教科書の内容の徹底理解と問題をひたすら演習して、多くの解法パターンを知ることが大切だと思います。また、今回のコロナ禍において、多くの学習塾では、通うことが困難であったと思います。このような中、私は、KATEKYO学院に通うことができました。丸岡校では、教室に仕切りを立てて個室のようにしたり、机の間隔をあけたりして感染防止対策を迅速かつ徹底して行ってくれたので物凄く安心しました。更に、マンツーマン指導の良さとして、わかりやすく丁寧な指導の他に、生徒の事を理解して心のケアをしてもらえることです。私は、先ほど述べた通り、模試の結果に落ち込むこともあれば浮かれることもあったので、2人の先生に気持ちの軌道修正を何度もしてもらいました。そのおかげで、受験勉強をやり遂げることができました。総じて、私は、これ以上良い環境はないところで学ばせてもらったと感じております。2人の先生方の優しい指導、また、KATEKYO学院に通わせてくれた両親のお蔭で志望大学に合格することができました。これから受験を迎える方は、是非、周囲への感謝を忘れずに勉学に励んでください。